

鉄砲洲神社 論語素読 解説

(平成22年6月11日)

公治長第五

15 子^し子^し産^{ざん}を謂^いう。君^{くん}子^しの道^{みち} 四^よつ有^あり。其^その己^{おのれ}を行^{おこな}うや恭^{きょう}。其^その上^{かみ}に事^{つか}うるや敬^{けい}。
其^その民^{たみ}を養^{やしな}うや恵^{けい}。其^その民^{たみ}を使^{つか}うや義^ぎと。

孔子が子産について批評をしました。

子産は、春秋時代、鄭国の賢人。君子の道は四つある。人に接する時には恭（謙遜）、上司に仕える時には敬（尊敬）、国民を治めるには恵（恩恵）、国民を使う時には義（公平・公正）が必要である。

今の時代に合わせれば、菅さんが総理大臣になりましたから、菅さんが総理大臣としてきちんとやっていけるかを見るのに、四つの判断基準があると考えれば良いと思います。

自分自身の身を持する上で謙遜であるか・・・あまり自己顕示欲が強いと良くないということになります。菅さんは政治家になった30年前に、私は総理大臣になるのだと公言して、その通りの道を進んで総理大臣になりましたから、これはたいしたものだと思います。しかし自分自身の身を持する上において謙遜であるかということ、これは甚だ疑問であると感じられます。

上司に仕える時には、恭しくしているか・・・菅さんが上に仕えるとなると、誰になるのでしょうか。天皇陛下になるのだと思いますが、尊敬の念を持っているかどうかはこれからの動きを見なければ分かりません。小沢さんは中国の要人に会うように天皇陛下の日程を変更させてしまいましたが、ごり押しをするようなことをしなければ尊敬していると思われるかもしれません。ただ色々な会議の際、議場に入った時に日の丸に向かって一礼をする官僚が今の菅内閣には非常に少ないということですので、それに関しては困ったものだと思います。

思いやりをもって国を治めているか・・・ばら撒きだけをやっていたのでは、恩恵にはなりません。後々しっぺ返しが来ると思いますので、これから舵取りが大変になると思います。

国を治めていくにあたって公平であるか・・・これから消費税を上げると言っていますから、その上げ方や税金のとり方で、国民から恨まれないような公平・公正な方法がとれば、義であろうかと思えます。

この四つの判断基準で、新しい総理大臣の内容を考えればよいと思います。

16 子曰く、晏平仲 善く人と交る。久しくして之を敬す。

晏平仲は齊という国の大政治家です。

晏平仲は誰とでも親しくお付き合いをする。暫く付き合っているうちに、相手から自然と敬意を払われるような人である。

今、こういう人がいるのかと考えると、なかなか難しいと思います。長く付き合えば付き合うほど、だんだん離れていくような人が多い気が致します。なるべく自分で、噛めば噛むほど味が出てくるような、付き合い方が良いと思います。

17 子曰く、臧文仲 蔡を居き、節に山し、税に藻す。何如ぞ其れ知らん。

臧文仲という政治家に対して、礼制度を無視しているのはいけないと言っています。臧文仲は物知りだということでも有名だったので、こういう書き方をしたようです。

蔡とは大亀の甲羅です。臧文仲は大亀の甲羅を家に沢山積み上げて、柱に亀の模様を彫刻し、うだちに藻の模様を描いている。これは天子の建物に許されている彫り物であり、模様であるから、こういうことは礼に反して物知りとは言えない。

言う事とやる事が違う人は、あまり信用ならないと考えればよいでしょう。

18 子張 問いて曰く、令尹子文、三たび仕えて令尹と為れども、喜べる色無し。三たび之を已めらるれども、愠れる色無し。旧令尹の政は、必ず以て新令尹に告ぐ。何如と。子曰く、忠なりと。曰く、仁なるかと。曰く、未だ知らず、焉んぞ仁なるを得んと。崔子 斉の君を弑す。陳文子 馬十乗有り。棄てて之を違る。他邦に至れば則ち曰く、猶吾が大夫崔子のごときなりと。之を違る。一邦に之けば、則ち又曰く、猶吾が大夫崔子のごときなりと。之を違る。何如と。子曰く、清なりと。曰く、仁なるかと。曰く、未だ知らず、焉んぞ仁なるを得んと。

子張が孔子に聞きました。

「総理大臣になった子文は、三回総理大臣に任命されたけれども、少しも喜ぶ様子はなかった。当然三回総理大臣を辞任したけれども、立腹した様子はなかった。今までやってい

た総理大臣の仕事を、きちんと次の総理大臣に引き継いでいた。こういう人物は忠と言えるでしょうか」

孔子が、「それは忠と評価できる」と答えました。

子張が重ねて聞きました。

「では、仁者でしょうか」

孔子が、「仁者とはなかなか言い難い。」と答えました。

更に子張が聞きました。

「斉の大夫である崔子が主君の荘公を殺しました。崔子の同僚である陳文子は、それを見て、40匹の馬を捨てて他の国へ行きました。他所の国に行ってみたら、同じように、崔子のような不忠の人がいると知って、ここも去りました。又、別の国でも同じような人がいるので、がっかりしてその国を去りました。こういう人物はどうでしょうか」

孔子が、「身を清く悪に汚されないようにしているので、それは清潔な人物である」と答えました。

子張が重ねて「では、陳文子は仁者と言って良いのでしょうか」と、聞きました。

孔子が答えました。

「仁を構成する上において清潔であるとか忠であるのは必要だけれども、清潔だからといって、又は忠であるからといって、仁者とは言い難い。したがって陳文子も仁者とは言い難い。」

今の時代に当てはめれば、総理大臣や各大臣がきちんと引継ぎをするかどうか見ていると、人物かどうかが見えてくる。きちんと引継ぎをすれば良い。小沢さんの幹事長引継ぎは3分だったそうですから、それではきちんと引継ぎは出来ないでしょう。枝野さんは、「次の大臣は私よりずっと怖い人だ」と紹介したところ、蓮舫さんが「私は前大臣が言うほど、きつい女ではありません」と返したそうですが、なかなかおもしろい引継ぎの仕方をするなと感じました。

本日の解説は以上です。